

(5) 課題（検討事項）の整理について

1. 検討対象の位置付けについて

■ グリーンインフラの定義について

【国の定義】

- ① 社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において
- ② 自然環境が有する多様な機能を活用し、
- ③ 持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組



(出典：国土交通省)

【参考】

世田谷区におけるグリーンインフラの定義と範囲

自然が持つ様々な機能を積極的かつ有効に活用することで、安全で快適な都市の環境を守り、街の魅力を高める社会基盤や考え方のこと



図 2.1 ガイドラインにおけるグリーンインフラの範囲

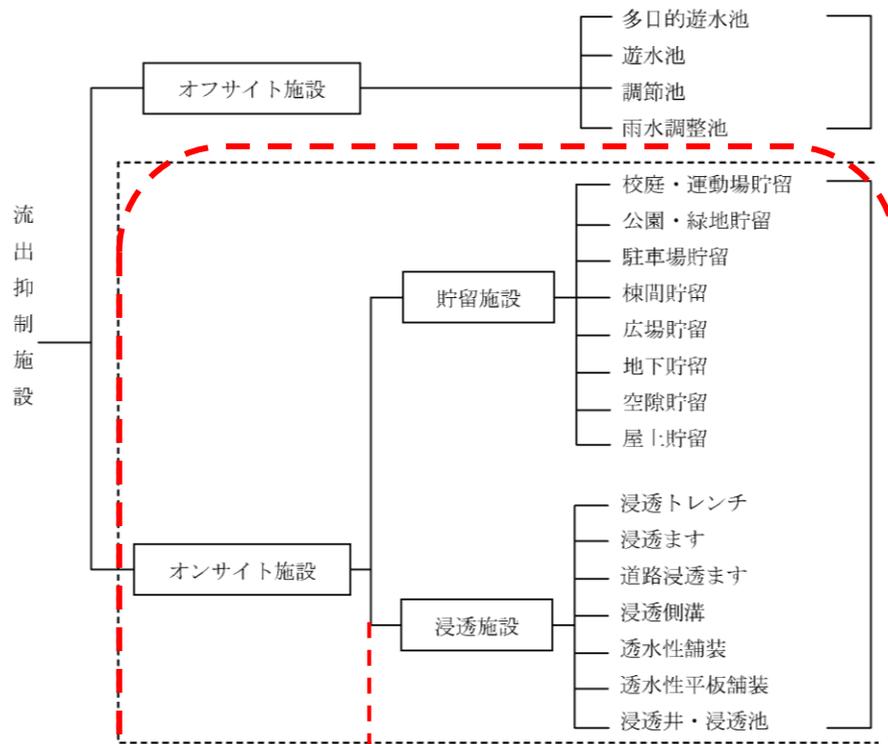


図 2.2 グリーンインフラとグレーインフラの施設例

(出典：世田谷区グリーンインフラライブラリー)

■ 本委員会で扱う検討対象の位置付けについて

本委員会では、都における雨水流出抑制を対象として、次の赤枠を検討対象を軸に検討



本委員会で扱う検討対象

雨水流出抑制に資する
 ・レインガーデン(雨庭)
 ・緑溝(バイオスウェル)
 ・雨水浸透型花壇・広場
 ・緑化舗装

図-1 貯留・浸透施設の分類

(出典：東京都雨水貯留・浸透施設技術指針(資料編)を基に加工)

2. 手段・施策の方向性について

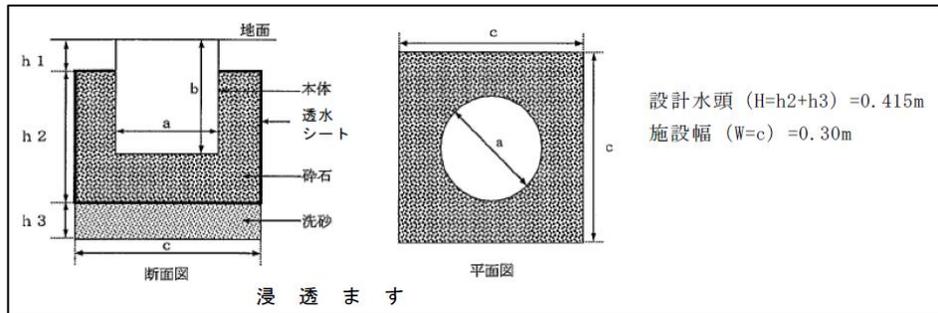
■ 技術面における手段・施策の方向性

東京都雨水流出貯留・浸透技術指針への反映

〔反映事項（イメージ）〕

① 種類

② 標準構造図（下図は浸透ますの構造図例）



雨水浸透ハンドブック（東京都下水道局）

③ 目標設定の考え方

（例）敷地面積に対し +10mm分を処理すること等

④ 浸透貯留効果の算定式

浸透施設浸透量 (m^3/hr)
= 基準浸透量 (Q_f) × 施設設置延長（もしくは面積等）
= $C \times$ 比浸透量 (K) × 飽和透水係数 (f) × 施設設置延長

⑤ 維持管理方法の整理

- ・ 残留水の処理
- ・ 清掃、洗浄
- ・ その他

■ 政策面における手段・施策の方向性

まちづくり制度等の検討

- （例）
- ・ 防災に関する認定制度
 - ・ まちづくり制度等への反映

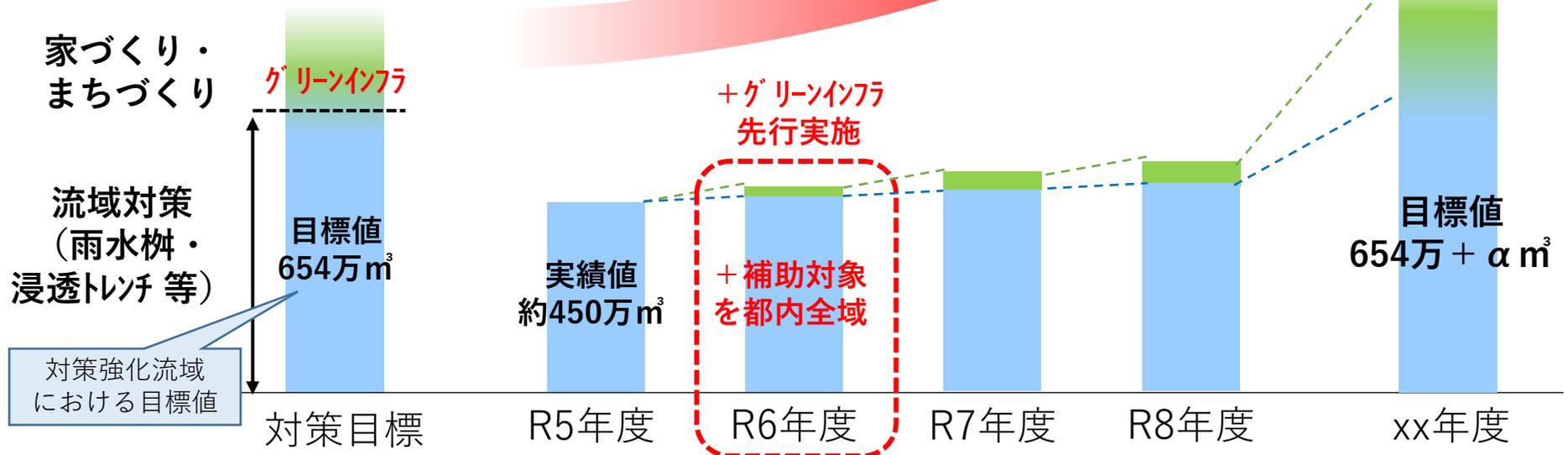
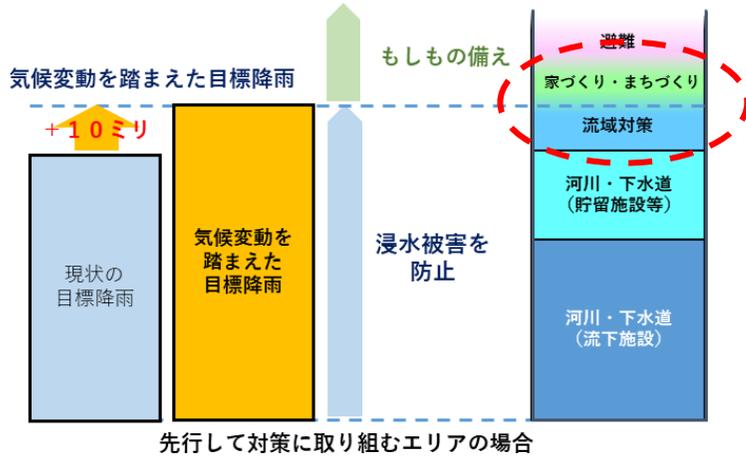


公開空地

3. 目指すべき目標について

気候変動を踏まえた目標降雨に対し、河川・下水道整備と合わせて、既存の流域対策に加えてグリーンインフラを活用し、豪雨対策を一層強化していく。

東京都豪雨対策基本方針（令和5年12月改定）



4. 想定される課題と検討事項について

■ 貯留・浸透量の定量評価にむけて

東京都に求められている役割

**都内の各地域特定に応じた
汎用性のある標準モデルの構築**

雨水流出抑制効果を定量的に評価するとともに、導入を促進するために、必要な検討要素

〔設置場所・種類〕

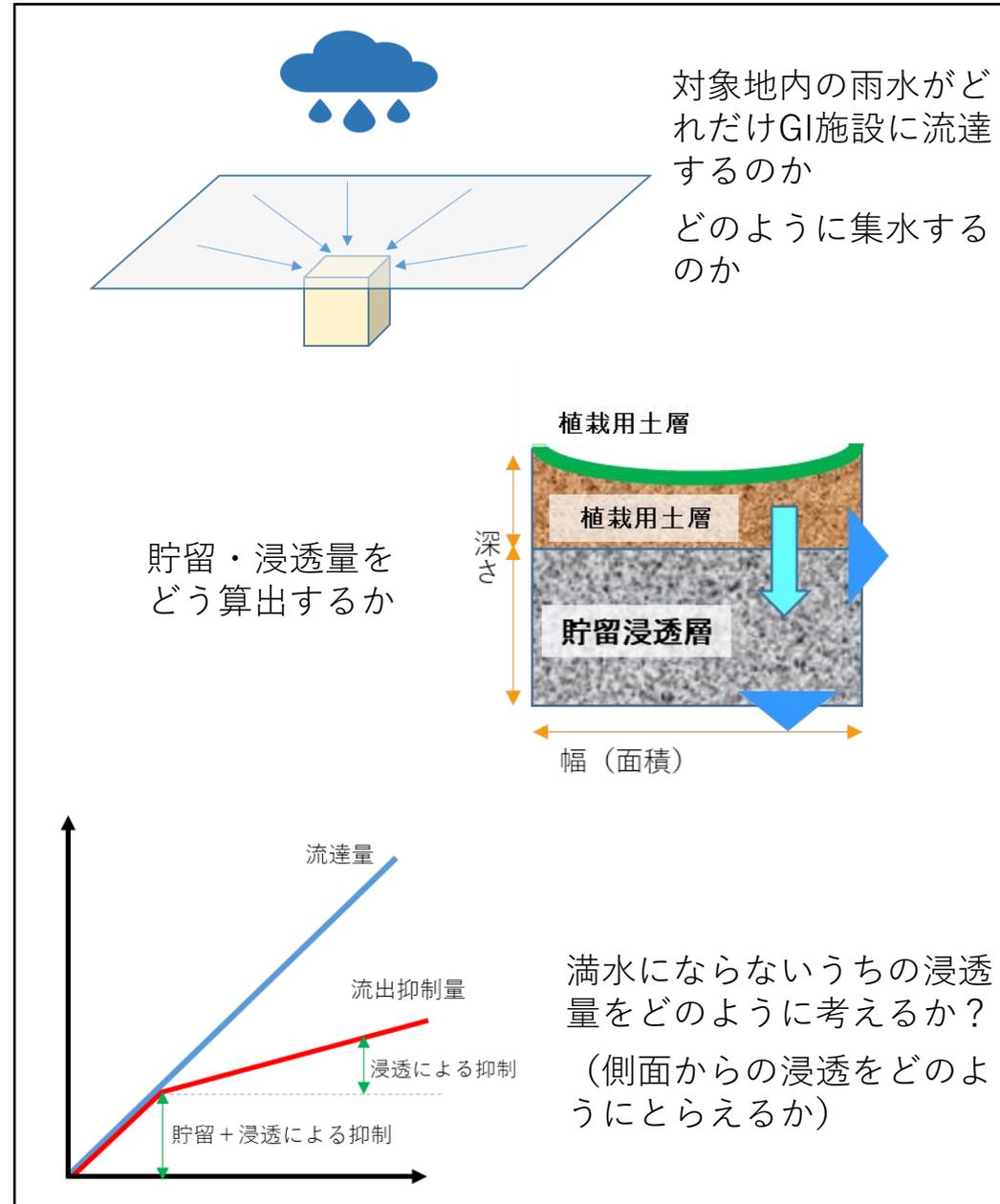
- 設置場所の選定
- 種類選定
- 形状やサイズの決定
- 材質の選定

〔浸透貯留量〕

- 流達する水量の計算方法
- 初期の貯留量の算出・評価の方法
- 初期の浸透量の算出・評価の方法
- 浸透量の算出・評価の方法

〔施工・維持管理〕

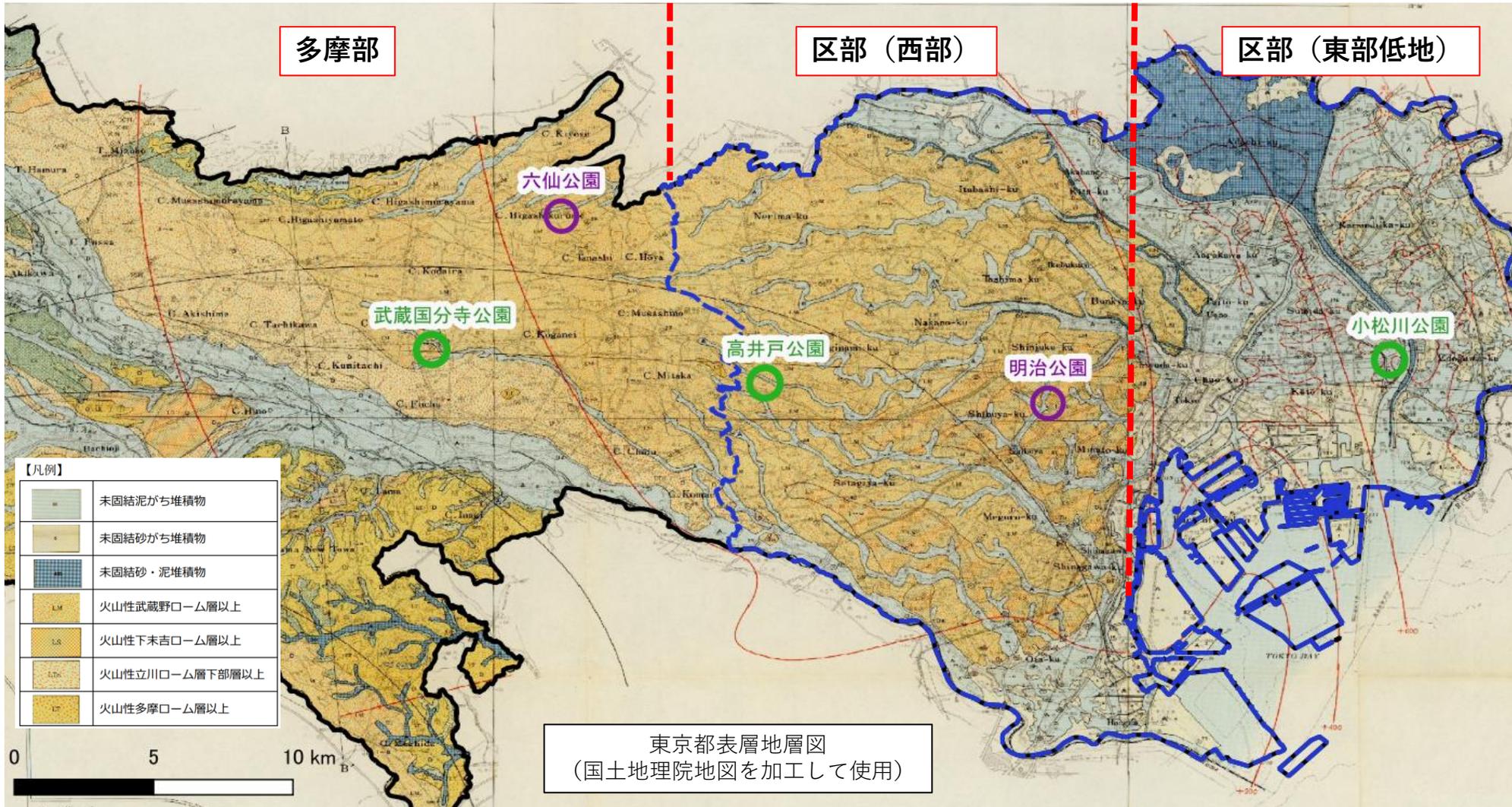
- 施工上の留意事項
- 維持管理の留意事項
- 浸透能の経年的な変化（性能低下）



4. 想定される課題と検討事項について

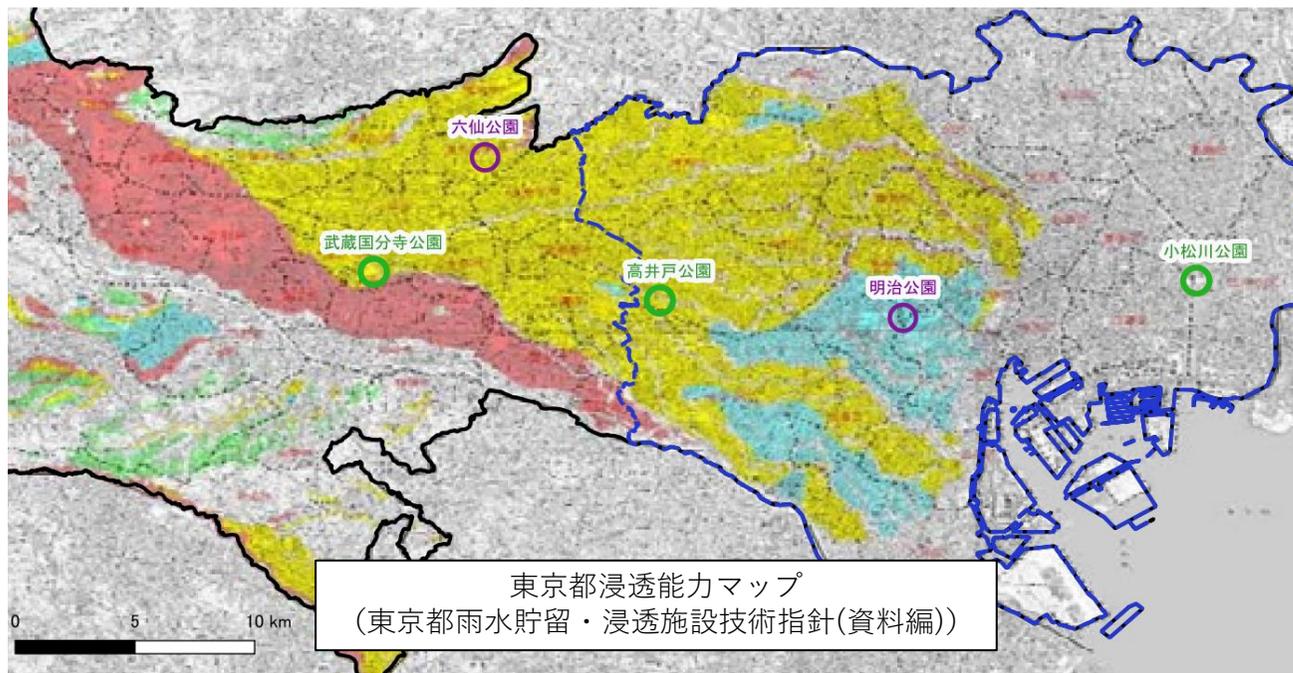
■整備場所（地域）について①

浸透能力や流域界、行政界を勘案し、区部（東部低地）、区部（西部）、多摩部の3区分を軸として、各地域における評価を検討



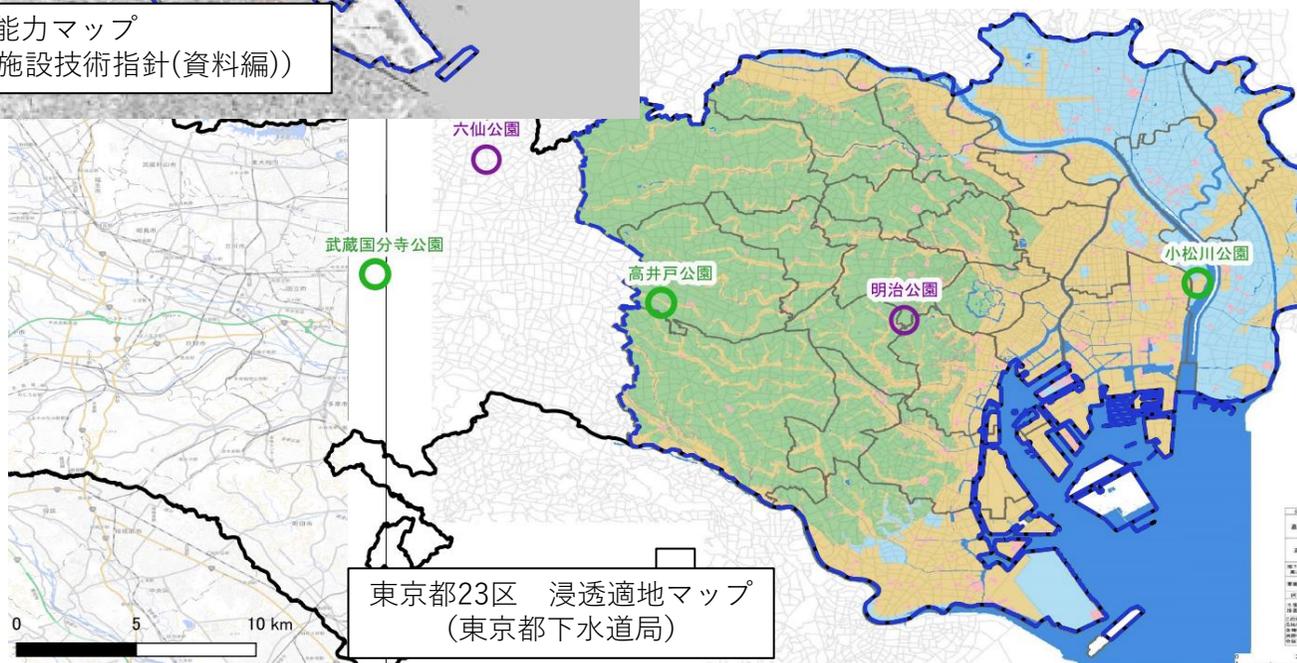
4. 想定される課題と検討事項について

■整備場所（地域）について②



浸透能力マップ
【凡例】

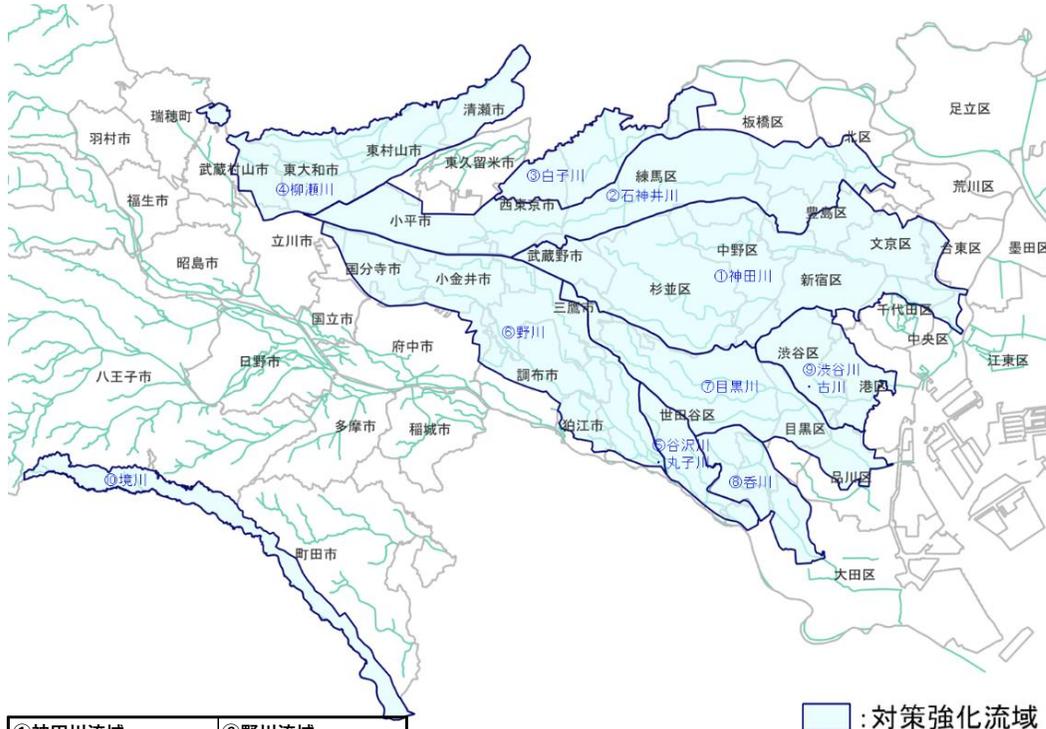
	立川ローム層
	武蔵野ローム層
	多摩ローム層
	下未吉ローム層



4. 想定される課題と検討事項について

■整備場所（地域）について③

『対策強化流域（10流域）』や『浸水ハザードマップ』における浸水想定区域に対する優位性について



① 神田川流域	⑥ 野川流域
② 石神井川流域	⑦ 目黒川流域
③ 白子川流域	⑧ 呑川流域
④ 柳瀬川流域	⑨ 渋谷川・古川流域
⑤ 谷沢川・丸子川流域	⑩ 境川流域

対策強化流域（10流域）



浸水ハザードマップ
(上図は、参考的に武蔵野市のエリアを抜粋)

※武蔵野市HPより引用

4. 想定される課題と検討事項について

■ 整備場所（主体）について

どのような場所に実装を図るべきか、また、どのようにして実装を進めていくべきか。

公共

公園



道路



庁舎



民間

再開発



商業施設



路面店



個人

集合住宅

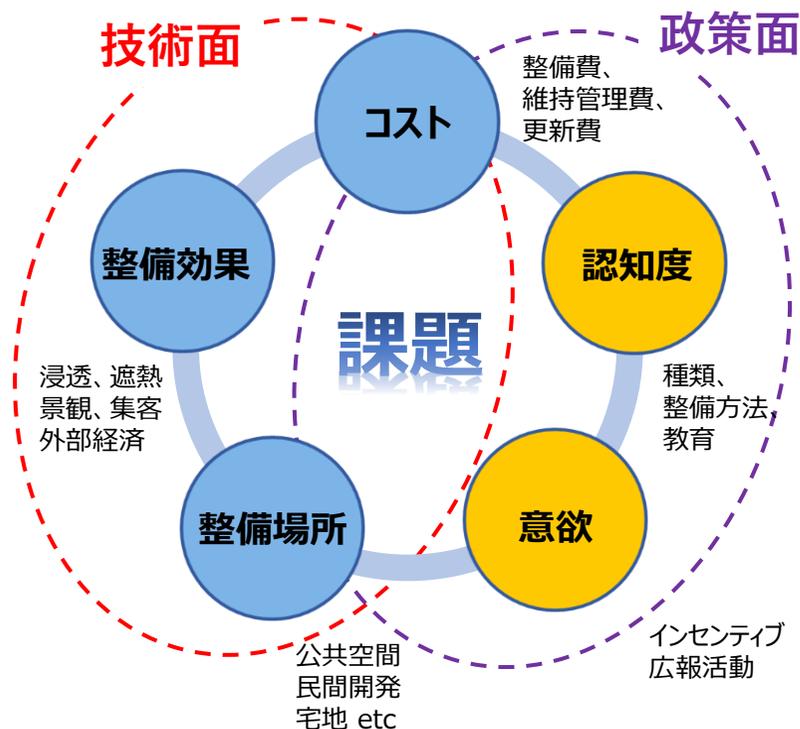


戸建て



4. 想定される課題と検討事項について

■ 想定される課題・検討事項について



【政策面】

課題	整理・確認の方向性
認知度	◆ 認知度を高めるための効果的な手法について イベント、表彰式、勉強会、発表会
意欲	◆ 導入モチベーションの向上への取組について 【都民に対して】 動画、教育資料 【自治体及び事業者に対して】 補助（助成）、しみこみアンバサダー 誘導を促す制度

令和6年度「雨水しみこみプロジェクト表彰式」を開催予定

⇒ 地元自治体及び民間企業の優良取組事例、小学生自由研究の表彰